

草津市協働のまちづくり推進計画 令和4年度取組実績および令和5年度予定 【中間支援組織】

ポイント…委員会当日に簡易説明を予定している項目です。
目標値に関する項目…資料4の目標数値に関わる項目です。

資料5

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和4年度		令和5年度		事業評価 (1~5)	項目評価 (A~E)
					決算額	取組実績	予算額	取組予定		
A 市民公益活動団体等の 交流促進事業の展開	①	ポイント 市民公益活動団体の交流の場の提供	市民公益活動団体同士の交流の促進を図り、新たな活動や取組につなげる。また、活動紹介を行うことで、市民の理解を促し、市民活動の裾野を広げる。	事業団	40千円	キラリエ5階の協働ひろばの運営を市と協働で行った。また、キラリエ草津登録団体（キラリエサポーター）の交流の場として、市が実施する「ラウンドテーブル」に企画から運営まで携わるほか、団体×団体だけでなく、団体×大学×行政など幅広くネットワークが形成できる場の提供を行った。 ・題名のない交流会 18団体27人 ・feel→do!登壇コーディネート 3団体3名（参加者約50名/回） ・市民活動交流会@くさつ登壇 1団体2名（参加者約50名） ・ラウンドテーブル 7回	0千円	キラリエ5階の協働ひろばの運営を継続するとともに、交流会や各種イベント企画の開催、協力サポートを通じて市民活動団体の交流だけでなく、産学官民が出会い関係が深まる場づくり、ネットワーク形成の場づくりを行う。	3	B
	②	地域サロン交流会の実施 ボランティアフェスティバルの実施		社協	574千円	・地域サロン交流会へ、地域包括支援センター、市地域保健課、市内のケアマネジャーに参加してもらい、気軽に相談できる専門家が身近にいることを啓発した。専門職にはインフォーマルサービスとして地域サロンの役割を認識してもらう機会となった。 サロン参加者92人 ・キラリエマツリと連携し、ボランティアマルシェを開催。	522千円	・地域サロン交流会について、多くのサロン代表者に来てもらえるよう、サロン活動の活性化につながる企画内容を検討し、充実させる。 ・ボランティアマルシェについて、若い世代にも参加してもらえるよう高校・大学に呼びかけ学生のボランティアの参加を募る。	4	
B まちづくり情報の収集・発信	①	ホームページ、SNS、ラジオ等を活用した情報の発信	市内のまちづくり活動や実務に役立つ情報等をホームページやSNS等を活用し、広く市民に発信することで、市民活動の活性化を図る。	事業団	2,110千円	えふえむ草津と連携し、FM番組「くさつコミュニ Tea Time」を毎月提供。毎回、市民公益活動団体や地域まちづくり協議会のほか、学生団体にも出演いただき、新たなメディアによる情報発信を行った。 ・えふえむ草津「くさつコミュニTeaTime」出演 24団体 ・えふえむ草津「KUSATSU FRONT LINE」出演 23団体 ・SNSによる情報発信 34件 ・DBリニューアル・保守	2,118千円	HP「まちサボくさつ」団体DBは団体同士によるネットワーク形成の効率化やDBとしての機能強化のために詳細情報のさらなる充実を図る。また、SNSではこれまでのFBに加え、公式LINEやInstagramなど、利用率の高い媒体も展開し、多様かつ重層的な情報発信を行う。 また、えふえむ草津への市民活動団体やまちづくり協議会の出演数を40団体以上とする。	3	B
	②	社協HPによる情報発信		社協	275千円	閲覧者が知りたい情報が得やすくなるよう、ホームページをリニューアルした。 ・アクセス数…57,298件	284千円	・ホームページのお知らせ欄を活用して、最新情報を効果的に周知できるようにする。 ・14学区の先進的な事例を定期的に更新し、地域活動の参考となる情報発信を行う。	4	
	③	まちづくり情報誌の発行		事業団	2,455千円	市内のまちづくり情報を広く市民に周知するため、情報誌「コミュニティくさつ」を発行した。市内全域を取り上げる全市版を2回、市内各地域の取り組みや魅力を地域住民に伝えるため、地域まちづくり協議会と連携して作成する地域版を2回の計4回の発行を行った。 ・発行/市域版2回・地域版2回（矢倉・玉川） ・市域版への読者感想 116件（平均58件）	2,884千円	引き続き「コミュニティくさつ」および「コミュニティくさつ」（地域版）の発行を行う。 ・発行/市域版2回・地域版2回 ・合冊版発行	4	
	④	市民公益活動団体情報冊子の発行		事業団	96千円	中間支援組織として基幹情報となる市内の市民公益活動団体情報の把握に加え、団体間のネットワークづくりやまちづくりに携わる人材の裾野の拡大を目的に、団体調査を行い、得られた基礎情報をHPの団体DBにて公開した。また、アンケート回答団体には冊子にかわるレスポンス手段として団体の詳細情報や活動実務のワンポイントアドバイス等の情報を掲載したニュースレターを発行、送付した。 ・情報公開団体数 271団体 ・ニュースレター700部作成	258千円	引き続き市民公益活動団体の情報把握と発信に努めるとともに、情報提供団体にはニュースレターの発行を行う。また、5年ぶりとなる市民活動団体調査を実施する。 ・ホームページによる情報公開 ・情報提供団体にニュースレター発行（8・2月） ・えふえむ草津「Kusatsu Front Line」での情報発信 ・市民活動団体調査	3	
	⑤	社協くさつの発行		社協	1,642千円	広報紙の発行により情報を発信した。イベント情報や支援情報の掲載については、若い世代や移住者にも注目してもらえる紙面づくりに努めた。 ・年4回発行	2,966千円	市民からの意見を取り入れ、ボランティア団体等に関する記事の掲載についても検討する。 ・年4回発行	3	
	⑥	ボランティアグループ・地域サロンリストの発行		社協	16千円	ボランティア・地域サロングループリスト、出前ボランティア一覧を作成し、活動の紹介に活用した。個人ボランティアも名前を伏せてリストに掲載することにより、ボランティア依頼につながるよう工夫した。 ・ボランティア・地域サロングループリスト 126部作成 ・出前ボランティア一覧 320部作成	303千円	リストを早い時期に作成できるように、印刷業務を業者委託する。 ・ボランティア・地域サロングループリスト作成 ・出前ボランティア一覧作成	3	

草津市協働のまちづくり推進計画 令和4年度取組実績および令和5年度予定 【中間支援組織】

ポイント…委員会当日に簡易説明を予定している項目です。
目標値に関する項目…資料4の目標数値に関する項目です。

資料5

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和4年度		令和5年度		事業評価 (1~5)	項目評価 (A~E)
					決算額	取組実績	予算額	取組予定		
C 相談・コンサルティングの実施	①	ポイント まちづくり活動相談とコーディネート 地域のまちづくりに関する支援（地域まちづくり計画、活動相談等）	相談対応やコーディネートを行うことで、まちづくり活動やボランティア活動に関する課題を解決する。また、他団体や人材とのコーディネートを行うことで、新たな活動に繋げる。	事業団	47 (再掲) 千円	○市民公益活動団体やボランティア希望者からの「団体や人の紹介」「活動取組・事業企画」「団体運営・会計」「活動資金の確保」など、多彩なまちづくり相談に職員が対応し、必要に応じて他団体や専門機関のほか協働ひろば企画やラウンドテーブル、「まちのジブンゴトfeel→do!」など関連事業へのコーディネートを行った。 ・相談対応件数 437件 ・中間支援センター意見交換会 参加2回 ○地域まちづくり協議会等の地域自治組織の組織や事業運営、情報発信などのまちづくり相談に職員が対応し、コーディネートを行い、職員を派遣し、講師やアドバイザー、地域まちづくり計画の策定サポート等を行った。他に、立命館大学シチズンシップ・スタディーズでは学生インターンシップ生による地域まち協と学生サークルマッチング会の企画運営をサポートし、ひととまちの未来つくるカレッジ4回目では市内3地域の好事例発表をコーディネートした。 ・地域まちづくり計画策定サポート（笠縫） ・地域と学生サークルとのコーディネート まち協7団体、学生5団体	47 (再掲) 千円	○「団体の法人化」など今後増加が見込まれる相談に対するコーディネート力の向上のため、外部研修への参加や職場内でのケーススタディ研修の実施等により職員のスキルアップを図る。 ・県内中間支援センターとの情報共有・研修 ○地域まちづくり協議会に対し、好事例の紹介事業や研修を実施する。また、地域と学生サークルのマッチング会を実施し、新たな取組やつながりのきっかけとする。 ・地域まちづくり協議会と学生サークルのマッチング会 ・地域の好事例紹介事業（社協との連携） ・地域まちづくり計画策定サポート ・地域人材育成事業サポート	4	B
	②	ポイント 地域福祉活動推進の支援（医療福祉を考える会議を中心とする課題共有とコーディネート） ボランティア活動の相談とコーディネート 地域サロン活動支援員によるサロンのコーディネート	相談対応やコーディネートを行うことで、まちづくり活動やボランティア活動に関する課題を解決する。また、他団体や人材とのコーディネートを行うことで、新たな活動に繋げる。	社協	55,282 千円	○地域福祉活動推進の支援 ・地域福祉活動（学区社協）支援、担当職員配置 ・学区社協活動支援 630回 ・草津市地域福祉活動計画策定委員会の開催 ○ボランティア活動の相談とコーディネート ・ボランティア需給調整 134件 ・フードバンク事業 ・福祉車両貸出事業 221件 ・電話訪問事業 279回 ・傾聴ボランティア連絡会の開催 12回 ○サロンのコーディネート ・新たに設置されたサロン：4団体 ・運営相談並びに情報提供：152件 ・地域サロン訪問：5件 ・需給調整：17件	61,942 千円	○学区社協と密な連携をとり、活動推進に向けて支援する。また、社会福祉法人との施設連絡会の開催に向け、ニーズ調査や会議の立ち上げ準備を行う必要がある。 ・地域福祉活動（学区社協）支援、担当職員配置 ・草津市地域福祉活動計画策定委員会開催 ○利用者やボランティアの調整を行う。 ○地域サロン活動の立ち上げ支援や、「まごころ便」の実施を行う。	4	
D 人材育成事業の展開	①	目標値に関する項目 人材育成講座の実施（まちづくり、環境、教養講座等）	人材育成講座を実施し、市民のまちづくり活動に対する関心を高め、市民活動に携わる市民を増やす。	事業団	334 (再掲) 千円	新たな団体や一般市民に対して、市内外の活動実践者などを招き、まちづくりに参加を後押ししたり裾野を広げるための啓発型講演会となる「ひととまちの未来つくるカレッジ」を開催し、講演4回中3回の講演については動画の期間限定配信を行った。また、スキルアップを目指す演習型講座はひとまちキラリ事業に移行し「ひとまちキラリ実務講座」として開催した。 ・ひととまちの未来をつくるカレッジ 計4回 参加者数 304人（動画配信日数約30日/回 動画視聴数のべ328回） ・ひとまちキラリ実務講座 計3回 参加者数 95人	336 (再掲) 千円	ひととまちの未来をつくるカレッジ開催にあたっては、多くの市民に参加いただけるよう動画配信を行っていく。 ・ひととまちの未来をつくるカレッジ ・地域の好事例紹介事業（社協と連携） ・ひととまちの未来をつくるカレッジ動画配信 ・ひとまちキラリ実務講座	4	B
	②	目標に関する項目 人材育成講座の実施（ボランティア、福祉教養大学等） ボランティアセンターの運営		社協	809 千円	○人材育成講座の実施 ・福祉教養大学の開催6回 受講生 延べ164人 ・福祉委員設置促進 市内福祉委員数 424人 ○ボランティアセンターの運営 ・登録団体 376団体 ・登録人数 5,776人	920 千円	○福祉教養大学受講生の定員を100人に設定し、少しでも多くの市民に受講してもらえるように啓発する。 ・福祉教養大学開催 ・福祉委員設置促進 ○ボランティアセンターの運営	4	
	③	まちづくり協議会向け研修の実施	まちづくり協議会や基礎的コミュニティを対象とした研修の実施や、地域が主体となる会議の運営支援等を行い、組織の運営力を高めるサポートを行う。	事業団	6,438 千円	「まちづくり協議会 会計・税務・労務サポート業務」の一環として、まち協を対象に専門家による各種研修会・相談会を実施し、適正な組織運営のためのサポートに努めた。また、令和5年10月から施行される電子帳簿保存法およびインボイス制度への対応に関する研修を実施し、円滑に移行できるよう支援した。 ・会計労務業務関係研修 延べ35学区 55人	6,439 千円	オンライン研修や外部研修の積極活用や市と連携した集合研修の実施を行う。各まちづくり協議会のニーズ把握を行い、ニーズに合わせた研修とする。 ・会計労務業務関係研修	3	
	④	医療福祉を考える会議を中心とする協議 近所力アップ講座の実施		社協	20,737 千円	○コロナ禍においても医療福祉を考える会議を開催できるよう三密を避けた方法を模索し、市地域保健課や地域包括支援センターと連携・協力しながら継続して会議を開催した。 ・生活支援体制整備事業（医療福祉を考える会議等への支援） ・生活支援コーディネーターの配置：14学区 ・医療福祉を考える会議実施学区：13学区（本会議：延べ19回 打ち合わせ等回数：延べ395回） ○近所力アップ講座 1回	20,746 千円	○会議を実施している学区に対し、地域の役員との連携を密にしながら、会議開催に向けた支援をしていく。未実施の学区へは、役員と開催に向けた協議の場を設ける。 ・生活支援体制整備事業（医療福祉を考える会議等への支援） ○市民が「聞きたい」内容の講座を実施（コロナ禍での社協活動について、ボランティアで生きがいづくり等） ・近所力アップ講座の実施	3	

草津市協働のまちづくり推進計画 令和4年度取組実績および令和5年度予定 【中間支援組織】

ポイント…委員会当日に簡易説明を予定している項目です。
目標値に関する項目…資料4の目標数値に関わる項目です。

資料5

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和4年度		令和5年度		事業評価 (1~5)	項目評価 (A~E)
					決算額	取組実績	予算額	取組予定		
E まちづくり活動支援・ 資金助成	①	目標に関する項目 市民公益活動団体への立ち上げ資金の助成	団体の立ち上げや事業支援として助成金等による資金面でのサポートを行う。	事業団	1,449千円	市民活動団体への助成金制度を実施運営した。立ち上げ支援枠と、ステップアップ枠の2部門により実施。さらに、コロナ禍の影響により計画通り活動できなかった団体へのコロナ再チャレンジ助成枠としての支援も行った。 ・助成実績 立ち上げ支援 3団体 ステップアップ 2団体 再チャレンジ 2団体	1,695千円	引き続き立ち上げ支援枠とステップアップ枠に分けて助成を行う。 ・助成予定 立ち上げ支援 3団体（提案団体数の目標は6団体以上） ステップアップ 3団体（提案団体数の目標は6団体以上）	3	B
	②	福祉活動団体への立ち上げおよび活動資金の助成 (地域福祉、ボランティア、地域サロン等)		社協	11,272千円	コロナ禍で活動が縮小してしまった地域サロンもあったが、活動の助成金を5段階に細かく分類し、活動回数が少なくても回数に応じた助成金を交付した。 ・地域サロン助成金：157サロン（内新規：4サロン）	11,617千円	地域サロンが設置されていない町内会に向けて周知・啓発チラシを配布し、多くの地域サロンが立ち上がるよう支援する。 ・地域サロン助成金	3	
	③	ポイント まちづくり活動場所の提供	活動場所の提供や活動団体が集まる組織を運営することで、団体の活動を支援する。	事業団	1,310千円	受託している指定管理施設を活用し、市民活動団体等に活動場所を提供した。また、キラリエ5階のフリースペース「協働ひろば」の空間デザイン・機能の充実を図り、プロムナードの企画出展や「まちのジブングトfeel→do!」への出演コーディネートなどにより市民公益活動団体の多様な活動、チャレンジ事業へつなげた。 ・協働ひろば利用数 380件 2,139人 ・協働ひろば活用企画 26件 ・協働ひろば空間デザイン、備品の充実	215千円	SNSを通じた協働ひろばの情報発信を行うことで、協働ひろばの有効活用を図る。 ・市民公益活動団体による協働ひろば活用 ・協働ひろば公式LINE、インスタグラムの運用 ・団体情報収集・発信、場づくりのコンテンツの充実	4	
	④	ボランティアセンターの運営（再掲）		社協	117千円 (再掲)	ボランティアセンターの運営を行った。 ・登録団体 376団体 ・登録人数 5,776人	66千円 (再掲)	ボランティアセンターの運営を行う。	3	
	⑤	活動に必要な機器の貸出 まちづくり協議会への支援（運営・会計、情報発信等）	イベントや催し等に必要となる各種備品や設備等を貸し出し、活動機会を創出する支援を行う。	事業団	11,443千円	○活動に必要な機器の貸出 ・まちづくり機器貸出件数 21件 ・環境緑化機器貸出件数 84件 ・まちづくり関連機器情報の収集発信 ○まちづくり協議会への支援 ・会計・税務・労務等サポート業務 ・情報ネットワーク環境業務 ・まち協HPサポート業務 ・地域まちセンPC等整備業務	14,267千円	○活動に必要な機器の貸出 ・まちづくり機器、環境緑化機器貸出事業 ・まちづくり関連機器情報の収集発信 ○まちづくり協議会への支援 ・会計・税務・労務等サポート業務 ・情報ネットワーク環境業務 ・まち協HPサポート業務 ・地域まちセンPC整備業務	3	
	⑥	福祉機器、福祉車両の貸出 地域支え合い運送支援事業 学区社会福祉協議会等福祉団体への支援		社協	6,353千円	○福祉機器、福祉車両の貸出 ・福祉車両貸出 送迎対応件数 221回 依頼者数 21人 送迎ボランティア数 11人 ・福祉機器の貸出 車いす貸出 154回 ○地域支え合い運送支援事業 5学区で実施 ○学区社会福祉協議会等福祉団体への支援 ・各種福祉関係団体等への事業助成 ・ボランティア団体活動助成 ・地域福祉活動への助成	7,596千円	○福祉機器、福祉車両の貸出 ・福祉車両貸出 ・福祉機器の貸出 ○地域支え合い運送支援事業 ○学区社会福祉協議会等福祉団体への支援 ・各種福祉関係団体等への事業助成 ・ボランティア団体活動助成 ・地域福祉活動への助成	4	
	⑦	市民活動への表彰	活動者に対し表彰を行うことで、活動意欲を高めるとともに、活動の周知を図る。 共同募金運動を推進し、地域活動の助成の一助とする。	事業団	1,449千円 (再掲)	市域・地域における長年の活動に対して表彰を行った。また、地域まちづくり協議会の協力を得ながら、制度の周知を図った。 尚、授賞団体への副賞（賞金）は草津商工会議所と連携のうえ市内の企業・事業所から集めた寄付を充当している。 ・イキイキ活動賞 申請数6 授賞数3 ・寄付いただいた企業・事業所 8社 11万円	1,695千円 (再掲)	引き続き、草津商工会議所と連携し、寄付募集を行う。また、寄付いただいた企業・事業所と授賞団体の連携を図る。 ・ひとまちキラリ イキイキ活動賞の実施 ・企業・事業所寄付を依頼	3	
	⑧	社会福祉功労者表彰 共同募金運動の推進		社協	239千円	○社会福祉功労者表彰 11月19日実施 18団体・57人・2校に表彰状、感謝状を授与 ○共同募金運動の推進 一般募金実績 7,941,071円 (地域助成金として配分 4,690,801円)	212千円	○社会福祉功労者表彰 11月に実施予定 ○共同募金運動の推進 一般募金目標額 10,000,000円	3	
F 中間支援組織同士の連 携協力	①	まちづくりイベントの共同開催 指定管理施設での連携事業 ホームページを活用した各種貸出機器情報の共同発信	中間支援組織同士で連携を図り、相互理解や中間支援力を高める。 また、類似する事業は合同で行うなど、事業を効果的に実施する。	事業団 社協	617千円 (再掲)	・キラリエマツリのボランティアマルシェおよびクリスマスイベントの合同開催 ・福祉教養大学とひととまちの未来をつくるカレッジの合同企画による「草津市の魅力を発見」を開催 ・事業団のまちづくり機器と社協の福祉機器など、まちづくりに活用できる機材の情報を集約し、双方のHPで発信した。 ・両団体の相互理解や先進的なまちづくり手法を共有するため、交流学習会を行った。	538千円 (再掲)	・キラリエマツリのボランティアマルシェおよびクリスマスイベントの合同開催 ・福祉教養大学とカレッジの合同開催 ・まちづくりに活用できる機材の情報発信 ・交流学習会の開催	3	B

<p>【各施策評価】</p> <p>5…計画以上の取組みを実施し、目標を大きく超える成果があった。 4…計画どおりの取組みにより、目標以上の成果があった。 3…計画どおりの取組みにより、成果があった。 2…取組みを行ったものの、思うほどの成果は得られなかった。 1…取組みまなかった、または、取り組むことができなかった</p>	<p>【推進項目ごと評価】</p> <p>・施策評価の平均点数が 4.0以上5.0 → A ・施策評価の平均点数が 3.0以上4.0未満 → B ・施策評価の平均点数が 2.0以上3.0未満 → C ・施策評価の平均点数が 1.0以上2.0未満 → D ※小数点第2位は四捨五入</p>
---	---